

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
1. 金融機関建物 (1) 日本銀行			
大日本帝国政府日本銀行全景 (3枚続) ——左図に「日本橋区本町常盤橋前 建設明治廿有九年三月廿二日 新築落成式ニ及ビ隆盛人目ヲ驚 シ構造ノ堅牢萬国ニ冠タリ」	梅堂国貞	明治29年	II Bfカ1-1-(1)
大日本帝国政府日本銀行全景 (3枚続)	梅堂国貞	明治29年	〃 1-(2)
日本銀行落成之図 (3枚続)	清 興 印刷・発行 武川 清吉	明治29年 5月 8日	〃 1-(3)
日本銀行落成之図 (原本3枚続) —— (写真複製)	清 興		〃 1-(4)
永代橋際日本銀行の雪 (小横1)	井上安治		〃 1-(5)
永代橋際日本銀行の雪 (小横1) —— (写真複製)	井上安治		〃 1-(107)
日本銀行落成之図 (3枚続)	清 興 印刷並発行人 武川 清吉	明治29.5.8 印刷 明治29. 5.11 発行	〃 1-(108)
東京名所永代橋真景 (原本3枚続) —— (写真複製) (日銀)	揚斎延一 印刷並発行者 武川卯之吉	明治21年	〃 1-(109)
日 本 銀 行 図 ——株式会社清水組 (下辺に摺込み あり製作を示すものか)	山村耕花 絵 長島鬼一 彫 武井 清 摺		〃 2-(1)
日 本 銀 行 之 図 (原版は石版) —— (写真複製)			〃 2-(6)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
1. 金融機関建物 (2) 三井組為替座			
海運橋通兜町三井為替座略図 (3枚続)	昇齋一景 伊勢屋兼吉 梓 彫 卯多	[明治 5年 3月]	II Bfカ4・1-(18)
東京海運橋兜町為換座五階之図 —— (3枚続) (三井組為替座)	一曜齋国輝 大国屋平吉 梓	[明治 5年 6月]	” 1-(7)
東京名所海運橋五階造真図 (3枚続) —— (三井組為替座)	一曜齋国輝 伊勢屋兼吉	[明治 5年 6月]	” 1-(8)
東京名所海運橋五階造真図 (3枚続) ——左片の記事により1-(8) と異なる (三井組為替座)	一曜齋国輝 伊勢屋兼吉	[明治 5年 6月]	” 1-(9)
海運橋三井組会社図 (3枚続) ——1-(17)に同じ (三井組為替座)	昇齋一景 加賀屋吉兵衛 板	[明治 5年 7月]	” 1-(16)
海運橋三井組会社図 (3枚続) ——1-(16)に同じ (三井組為替座)	昇齋一景 加賀屋吉兵衛 板	[明治 5年 7月]	” 1-(17)
書畫五拾三駅武蔵日本橋三ッ井組ハウス ——書は「寿」(秋蔵) (三井組為替座)	芳 虎 ㊦ 沢村屋清吉板	[明治 5年 7月]	” 1-(54)
東京三井組 ^{おせき} バンクハウス五階之図 —— (3枚続)	広 重 丸屋鉄治郎 板	[明治 5年 8月]	” 1-(21)
海運橋為換座之図 (3枚続) —— (三井組為替座)	昇齋一景 [萬屋吉蔵]	[明治 5年 9月]	” 1-(19)
東京海運橋兜町三井組為換座 西洋形五階造 (3枚続)	一交齋幾丸 萬屋孫兵衛 板元	[明治 6年 正月]	” 1-(64)
東京名勝図会海運橋為換座 —— (三井組為替座)	広 重 丸 鉄	[明治 6年 2月]	” 1-(33)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
東京名所海運はし三ッ井ハウス —— (横1枚) (三井組為替座)	一 景 (蔦屋吉蔵)	[明治 6年 10月]	II Bfカイ・1-(59)
東京海運橋五階造為換座真図 —— (3枚続) (三井組為替座)	広 重 若狭屋基五郎 梓	[明治 6年 11月]	〃 1-(20)
新開名所海運橋為換座 —— (三井組為替座)	孟齋芳虎 ㊦ (沢村屋清吉)	[明治 7年 2月]	〃 1-(53)
東京開化名景競海運橋ハウス —— (三井組為替座)	梅堂国政 辻 文	[明治 7年 9月]	〃 1-(52)
東京名所ノ内海運橋兜町三井組 為換座五階造之真図 (3枚続)	一曜齋国輝 大国屋金三郎 板		〃 1-(10)
東京日本橋ハウス之遠景 (3枚続) —— 3枚とも下辺ウラにナンバリン グあり、表側にしみ出る。 (三井組為替座)	孟 齋 (芳虎) 澤村屋清吉㊦		〃 1-(11)
東京海運橋三ッ井組第一国立之銀行 ハウス之図 (3枚続) —— 中央下辺に墨丸あり、改印を消 したものが?	永島孟齋 (芳虎) 蔦屋恒七 板		〃 1-(15)
海運橋三井組ハウス (3枚続) —— 左右に遠目鏡望遠の図入 (三井組為替座)	梅堂国政		〃 1-(23)
東京名所する賀町三ッ井ハウスノ図 —— (3枚続)	広 重 辻岡屋亀吉 梓		〃 1-(66)
東京名所之内駿河町三ッ井のハウス —— (横1枚)	広 重 萬 孫		〃 1-(72)
1. 金融機関建物 (3) 第一国立銀行			
東京府下海運橋兜町第壹国立銀行 五階造新図 (3枚続)	国 輝 辻岡屋亀吉 板		II Bfカイ・1-(6)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
東京海運橋第一国立銀行の全図 并近圓の市中一覽の図 (3枚続) ---1-(13)に同じ	孟 齋 武川清吉	明治 9年 5月届	II Bfカ4-1-(12)
東京海運橋第一国立銀行の全図 并近圓の市中一覽の図 ---1-(12)に同じ	孟 齋 武川清吉	明治 9年 5月届	〃 1-(13)
自江戸橋新築国立銀行一覽之図 --- (3枚続) (第一国立銀行)	孟 齋 澤村屋清吉 板	[明治 8年 8月]	〃 1-(14)
東京名所之内海運橋第一国立銀行 --- (横1枚)	広 重 萬 孫 板元		〃 1-(26)
東京名所海運橋第一国立銀行 --- (横1枚)	広 重 浅野栄蔵 板	明治 9年 8月 4日届	〃 1-(27)
東京名所図会第一国立銀行 (横1枚)	広 重		〃 1-(28)
東京名所之内海運橋第一国立銀行 --- (横1枚)	広 重 辻岡文助 出版人	明治12年 1月27日届	〃 1-(29)
東京真景図会海運橋第一国立銀行	広 重 森 本		〃 1-(30)
東京名所図会第一国立銀行	広 重 藤 慶	[明治 7年 12月]	〃 1-(31)
東京府下名所尽海運橋第一国立銀行	広 重 辻岡屋龜吉 板	[明治 7年 10月]	〃 1-(32)
東京名所図会海運橋通り第一国立銀行 ---左辺の太枠なし、あるいは続 ものか。	広 重		〃 1-(34)
東京名所之内国立銀行 (横1枚) --- (第一国立銀行)	曜齋国輝 両国加賀吉 梓		〃 1-(38)
東京府下自漫競海運橋銀行 --- (第一国立銀行)	曜齋国輝 南横町伊勢兼	[明治 7年 5月]	〃 1-(39)

標 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
東京府下自漫競海運橋銀行 ——1-(39)に同じ、但し摺落しあり (第一国立銀行)	曙齋国輝	[明治7年 5月]	II Bfカ1・1-(40)
東京各大区内海運橋第一国立銀行	一曙齋国輝 司馬若与	[明治6年 12月]	” 1-(41)
東京各大区内海運橋第一国立銀行 ——1-(41)に同じ	一曙齋国輝 司馬若与	[明治6年 12月]	” 1-(42)
東京名所尽第一国立銀行 (小1枚)	広 重 出版人 網島龜吉		” 1-(48)
東京開化卅六景海運橋国立銀行 —— (横小1枚) (第一国立銀行)	広 重		” 1-(49)
東京銘勝会海運橋第一国立銀行	国 利 画工兼・出版人 辻岡文助	明治19年 10月8日届	” 1-(55)
東京名勝図之内 東京海運橋第一国立銀行	梅寿国利 伊勢屋茂兵エ		” 1-(56)
東京名所図絵海運橋ぎん行 ——枠形に切りぬき	国 麿		” 1-(57)
東京名所之内海運橋国立銀行 —— (第一国立銀行)	薫州国春 石島八重	明治21年 5 月印刷出版	” 1-(58)
東京名所図会第一国立銀行図	年 忠 松成保太郎	明治28年 印刷出版	” 1-(60)
開化五人美男 三井組の彦 坂東彦三郎 海運橋銀行 ——銀行は上部コマ絵右下辺枠落し (第一国立銀行)	豊原国周 丸 鉄 (伊) 渡辺彫栄		” 1-(62)
第 一 銀 行 之 景 —— (第一国立銀行)	清水市郎	明治20年 12月届	” 2-(7)

標 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
東京第一大区蠣壳町貳町目第五国立銀行 并商行会社新築之図 (3枚続) ——ガス灯3基アリ右ノ右側にスレ 1. 金融機関建物 (4) 三井銀行	広 重 萬屋孫兵衛 板元		II Bfカ4・1-(82)
^{するがてう} 東京駿河衛国立銀行繁栄図 (3枚続) —— (三井銀行)	広 重 大倉孫兵衛 板	[明治 6年 正月]	II Bfカ4・1-(67)
東京名所之内駿河町之図 東京駿河町三井組三階家西洋之図 —— (3枚続) (三井銀行)	一曜斎国輝 伊勢屋謙吉 板	[明治 6年 12月]	” 1-(68)
新開名所駿河町三ッ井ハウス —— (三井銀行)	孟 齋 (芳虎) ㊦ (澤村屋清吉)	[明治 7年 2月]	” 1-(77)
東京開化名景競駿河町三ッ井 —— (三井銀行)	梅堂国政	[明治 7年 9月]	” 1-(76)
開化名所ノ内筋違萬世橋 開化名所ノ内駿河町三井 ——大錦一枚へ上下二段に摺る (三井銀行)	房 種 馬喰四木宗 板	[明治 7年 10月]	” 1-(81)
東京真景図会する賀町三ッ井組 —— (三井銀行)	広 重 大 橋	[明治 8年 9月]	” 1-(75)
東京名所図会する賀町 三ッ井銀行 (2枚続)	広 重 出版人 上村清左衛門	明治11年 5月27日届	” 1-(70)
東京名所図会する賀町 三ッ井銀行 (2枚続) ——左側の枠なし、3枚続の右図か 1-(70)参照。	(広 重) 出版人 上村清左衛門	明治11年 5月27日届	” 1-(71)
東京名所図会駿河町三ッ井銀行	広 重 岡本懐徳	明治12年届	” 1-(74)

標 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
東京駿河街 (3枚続) —— (三井銀行)	曜齋国輝 大国屋平吉 版		II Bfカ1・1-(69)
東京名所図会する賀町三ッ井銀行	広 重		” 1-(73)
東都名所駿河町三ッ井ハウスノ図 —— (横1枚) (三井銀行)	国 政 丸 鉄 (伊)		” 1-(78)
東京名所駿河町三井銀行 (横1枚) —— 梓一額縁仕立	国 利 彫 竜		” 1-(79)
東京開化三十六景駿河町之富士 —— (横1枚) (三井銀行) 左梓外下部に「一六九」	広 重		” 1-(80)
三ッ井組西洋館組立絵 (10枚) —— (三井銀行)			” 1-(86)
1. 金融機関建物 (5) 為替会社			
新開名所大阪町商社 —— 「為替 (座)」の看板みゆ (為替会社)	孟 齋 ① 沢村 板	[明治 8年 8月]	II Bfカ1・1-(85)
1. 金融機関建物 (6) 両替店			
商家店頭図 (小横各1枚) (銅版) —— 「名商繁栄図」の類の貼合せ 2-(3) 両替店 築井徳三郎 2-(4) 公債証書売買所 両換屋 増井九右衛門 2-(5) 烟艸問屋 内田 安兵衛 両換舗 (両替店)			II Bfカ1・2-(3) 2-(4) 2-(5)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
2. 貨幣関係 (1) 通貨一覧			
両替屋 —20円～1厘(貨幣一覧図) 1-(27)に同じ			II Afk4-1-(26)
両替屋 —1-(26)に同じ			” 1-(27)
古金銀貨一覧表	国利 近園版 印刷兼発行者 長谷川園吉	明治22年	” 1-(28)
古金之図(扇面1 墨版<銅版>) —2-(4)と表裏か		明治5年	” 2-(3)
古金之図(扇面1 墨版<銅版>) —2-(3)と表裏か		明治5年	” 2-(4)
新相場早見(藍摺) —天保銭、青銭、文久銭、銅銭の 交換相場表。羽生・町場斎藤の 蔵朱角印2ヶ所	酒醤油酢造 道具問屋 明石屋心助		” 2-(7)
外国五カ国通用銀銭正図(墨摺) —阿蘭陀、美理加、拂郎西、 英吉利、魯西亞			” 2-(8)
古銭の双語六古銭 ^{第五卷} 附録 第一号 —(墨版)	濱村半文銭ノ立案 下間虎徳楼 編	大正10年 1月1日	” 2-(9)
新古金銀貨一覧図(横形) —元禄小判、天保大判～20円金貨 まで12区画に18種の貨幣をそれ ぞれの形なりの紙を貼付し、 金、銀彩色、各貨の量目を記 す。12区画にはミシン目を入れて 切りはなし可能。			” 2-(10)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
鑄 錢 図 解 (1冊・折帖) ——享保13年仙台領石巻における 寛永通宝鑄造の図。京都堺屋 平兵衛、旧蔵、同地中島泉貨堂 所蔵本を複製、圓々堂甲賀序文	発行人 東瀾 智海	大正12年 4月3日 発行	II Afk1- 2-(11-1)
鑄 錢 図 解 (1巻・卷子) ——II Afk1-2-11-1 を体裁を変えて 印行したもの、内容は同じ (注) 134頁も参照 2. 貨幣関係 (2) 鉱山	発行人 東瀾 智海	大正12年 4月3日 発行	" 2-(11-2)
諸 国 金 山 ノ 図 (3枚続) ——[佐渡]、余白に「佐渡金山 之図」の表題あり	一龍齋芳豊 横山三菊市 板 彫兼、彫子兼、 小泉彫兼	[万延元年 10月]	II Afk1-1-(30)
大日本物産図会佐渡国金山之図 大日本物産図会佐渡金堀之図 ——大錦へ上下二段摺	広 重 画工 安藤徳兵衛 出版人大倉孫兵衛	明治 8年	" 1-(31)
諸 国 金 山 ノ 図 (3枚続の1枚) ——3枚続の右1枚 1-(30)に揃あり	一龍齋芳豊 横山三菊市 板 小泉彫兼	[万延元年 10月]	" 1-(32)
諸国名所百景 佐渡金山奥穴の図	広 重 下谷魚栄	[安政 6年 11月]	" 1-(33)
六十余州名所図会佐渡金やま	広 重 越 平	[嘉永 6年 9月]	" 1-(34)
別 子 銅 山 図 (木版、1枚) ——別子銅山ノ記 (二十世紀孫住友 吉左衛門誌)		明治23年 9月 1日	" 1-(35)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
2. 貨幣関係 (3) 造幣寮			
浪花川崎鑄造場の風景 (3枚続) —— (明治四年来の春)	長谷川小信 八尾屋善兵衛 梓	明治 4年春	II Afk4・1-(1)
浪花川崎鑄造場の風景 (3枚続) —— 改印あり	長谷川小信 大和屋清兵衛 梓	明治 4年春	” 1-(2)
浪花川崎鑄造場之図 (小横長 1枚) —— 1-(7) と同図 (ただし色違い) 1-(8)	長谷川小信 大清 板		” 1-(6)
浪花川崎鑄造場之図 (小横長 1枚) —— 1-(6) と同図 (ただし、色違い 1-(8) 板元も異なる) 左右と天は梓で切落し	長谷川小信 富士政 板		” 1-(7)
浪花川崎鑄造場之図 (小横長 1枚) —— 1-(6) と同図 (少し色違い) 1-(7)	長谷川小信 富士政 板		” 1-(8)
浪華川崎造幣寮河下より望図 —— (小3枚継)	松川半山 口画刀工 田中忠次	明治 5年秋	” 1-(9)
浪花名所之内川崎造幣局 —— (小横長 1枚)	小 信		” 1-(10)
浪花八景之内川崎鑄造場 (小横長 1枚) —— 左右梓にて切落 対岸茶屋座敷より望む			” 1-(11)
浪花川崎造幣寮 (小横長 1枚)	よし景 前田喜兵衛 梓		” 1-(12)
川崎造幣寮 (小横長 1枚)	[貞 信]		” 1-(13)
浪花名所川崎鑄造場 (細横長 2枚継) —— 小横本の挿画か?	小 信		” 1-(14)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
坂府新名所 川崎造幣局 坂府新名所 松島千代崎橋 ——大錦 1枚へ上下 2段	貞 信		II Afk4-1-(15)
京阪名所図絵大坂河崎造幣寮之図 ——煙雲の銀は変色 1-(17) と同じ 定価二銭五厘	(京) 芳国 画者 野村與七 出版人池田房治郎	明治18年 9月	” 1-(16)
京阪名所図絵大坂河崎造幣寮之図 —— 1-(16) と同じ	(京) 芳国 画者 野村與七 出版人池田房治郎	明治18年 9月出版	” 1-(17)
大新板川崎鑄造場切組燈籠組立之図 —— (5枚続)	貞信製 錦屋嘉兵衛 板		” 1-(29)
大坂天満川崎貨幣鑄造場之図 —— (横大 1枚) (墨摺) 場内吹抜図	児 蝶		” 2-(1)
創業當時の造幣寮全図明治四年 —— (横長 1枚) (墨摺) (造幣局長 中村重喜 誌)	浪華城南住 豊誠 写	昭和16年春	” 2-(2)
浪花川崎鑄造場景新貨幣品位量目表 —— (扇面) (銅版・墨版) 明治3~4年発行 20円~ 1厘貨	西京 麥雨旭山刻 西京銅版摺師 杉山清助藏板		” 2-(5)
2. 貨幣関係 (4) 紙幣寮			
東京名所常磐橋内紙幣寮新建之図 —— (3枚続)	広 重 画工 安藤徳兵衛 出版人 小林 平次郎	明治10年 1月25日届	II Afk4-1-(20)
東京名所之内常磐ばし内印刷局	広 重 画工 安藤徳兵衛 出版人堤 吉兵衛		” 1-(21)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
常磐橋内紙幣寮之図 (横 1枚) ——中央縦折りのシワ 右枠外隅に「文久堂」の朱印	画工 小林清親 出版人福田熊治良	明治13年	II Afk4-1-(22)
常磐橋内紙幣寮之図 ——1-(22)に同じ (色調は劣る)	画工 小林清親 出版人福田熊治良	明治13年届	” 1-(23)
紙 幣 局 (小判横 1枚)	井上安二		” 1-(24)
東京諸官省名所集 紙幣局、租税局、陸軍省 ——各所在地を付す 紙—大手町一町目 租—萬代橋キワ 陸—有楽町一町目 価—錢五厘 (紙幣局)	広 重 画工 安藤徳兵衛 林 吉蔵 板	明治 9年 11月 4日届	” 1-(25)
東京名勝之内 常磐橋紙幣局新建出来之図 (3枚続) ——宝価五錢	広 重 画工 安藤徳兵衛 Ⓜ 伊勢屋茂兵衛 出版 井上茂兵衛	明治10年 1月16日届	” 4
2. 貨 幣 関 係 (5) 満 州 国			
満州国国幣公示ポスター ——統一幣制満州中央銀行発行国幣 図、記事入 3-(1)と同じ (但し 地色黄)	満州中央銀行	大同元年 (2年)	II Afk4-3-(1)
満州国国幣公示ポスター ——統一幣制満州中央銀行発行国幣 図、記事入 3-(1)と同じ (但し 地色黄)	満州中央銀行	大同元年 (2年)	” 3-(2)
満州国鑄貨公示ポスター ——白銅、青銅各 4種図入			” 3-(3)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
3. 富 関 係			
浪花福舞臺図 絵 三枚続 ——役者見立富突図	柳斎重春 ワタキ [綿屋喜兵衛]		II Bfカ1・1-(87)
東 豫 川 之 江 湊 富 会 所 之 図 ——1-(89)と図柄は同一	浪華芳瀧 片山菊次郎 板元		” 1-(88)
尾 道 入 札 場 所 之 図 ——1-(88)と図柄は同一	浪華芳瀧 片山菊次郎 板元		” 1-(89)
富 突 図 ——天地ももけて破損、左右辺文字 は 1-(89) と同一につき「尾道 入札場所之図」としてよいか、	浪華芳瀧 片山菊次郎 板元		” 1-(90)
備 前 金 陵 山 西 大 寺 会 場 之 図 ——2月14日宝木祭	岡山北嶺 湊屋三郎兵衛 版		” 1-(91)
鞆 津 入 札 場 図 ——富突	一養亭芳瀧 舛屋小八 板元 一柳房次郎 刀		” 1-(92)
米 子 入 札 場 所 之 図 ——川之江富突図 (1-88) と酷似		(慶應 4年 8月)	” 1-(93)
米 子 入 札 場 所 之 図 ——1-(93)と同一		(慶應 4年 8月)	” 1-(94)
藤 崎 富 場 千 歩 一 之 図	米 朝 常磐口 板元 印判師秀嶋屋清蔵		” 1-(95)
藤 崎 富 場 千 歩 一 之 図 ——1-(95)に同じ	米 朝 常磐口 秀嶋屋清蔵		” 1-(96)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
熊本藤崎社千両富場之図	観雅亭 常磐口 板元		ⅡBfカ4・1-(97)
御免津嶋富突図絵(横1枚) ——手ずれ、部分彩	金城西 泉秋堂		〃 1-(99)
見立富突図(中1枚) ——娘の富突を甲冑槍持にて立合、 続物が不明。少アレ			〃 1-(101)
浪花福富舞臺図絵 三枚続 ——1-(87)参照、役者見立富突	柳斎重春 ワタキ		〃 1-(102) 〃 1-(103) 〃 1-(104)
當世名物鹿子神社佛閣の一の富 ——札売場の前の女図 1-(106)と同じ	溪斎英泉 傘	(文化末 ~弘化末)	〃 1-(105)
當世名物鹿子神社佛閣の一の富 ——1-(105)と同じ(但少ツカレ)	溪斎英泉 傘		〃 1-(106)
萬々兩札のつき留(2枚続)			〃 1-(98)
萬々兩札のつき留(2枚続) ——1-(98)にあり			X・2-(366)
萬々兩札のつき留(2枚続) ——X2-(366)に同じ			X・2-(383)
(注) 富絵については 57 頁も参照			

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
4. 風 景			
浪花繁栄東堀鉄橋図 (3枚続) ——  川崎造幣局遠景) 図アリ 淀川蒸気舟	松光齋長栄 新町東口八尾善板	(明治 3年)	II Afカ1・1-(3)
浪花繁栄東堀鉄橋図 (3枚続の内2枚) ——1-(3) のうち2枚、 但し板元異なる (改印は同じ) 川崎造幣局遠景あり	(松光齋長栄) 松 岡		” 1-(4)
阪府高麗鉄橋之図 (3枚続)	長谷川小信 綿屋喜兵衛 板		” 1-(5)
浪華新景図 ——異人屋敷、川口運上所、松嶋楼 など21図をコマ割り、 川崎金吹場、金吹場門前、加州 蔵屋敷	照皇亭貞広 錦正堂富士 板		” 1-(18)
大阪風景川崎の渡 (横形1枚)	K.Oda (織田一磨)	1919年	” 2-(6)
東京名所荒布橋ヨリ五橋一覽之真図 —— (3枚続)	広 重 臨写発行元 新栄堂古橋新之助	明治28年 臨写発行元	II Bfカ1・1-(22)
東京名所繁栄之内江戸橋之図 (3枚続) ——3枚とも下辺の1部に破損	梅堂国政 辻岡屋文助	[明治 8年 8月]	” 1-(24)
東京江戸橋之真景 (3枚続) ——中の左下隅、右の右中辺に破損	方円舎清親 松木平吉 彫工銀	明治 9年 1月13日届	” 1-(25)
東京府下名所尽 江戸ばしよりよろひ橋の景	広 重		” 1-(35)
東京名勝図会よろひばしの雪降	広 重 丸鉄 板	[明治 6年 2月]	” 1-(36)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
東京名勝図会日本橋の真図	広 重 通式口 丸鉄 板	[明治 3年 7月]	II Bfカ4・1-(37)
東京名所之内江戸ばし郵便局 (横1枚)	広 重 全 紙屋	[明治 7年 9月]	〃 1-(43)
東京府下自漫競江戸橋石造	広 重 南槇町伊勢兼	[明治 7年 5月]	〃 1-(44)
東京真景図会あらめばしより江戸橋	広 重 大 橋	[明治 8年 9月]	〃 1-(45)
東京府下名所尽四日市駅通寮 ——右下枠たち落し	広 重 辻岡屋亀吉 板	[明治 7年 10月]	〃 1-(46)
日本橋三景 [江戸橋ノ景、魚市、 かやば丁薬師ノ景]	広 重 ◎ 沢村 板 彫 銀	[明治 8年 8月]	〃 1-(47)
東京開化名景競よろいばし	梅堂国政 兌 辻文 板	[明治 7年 9月]	〃 1-(50)
東京開化名景競よろいばし ——1-(50)と同一 (但し摺りやや不良)	梅堂国政 兌 辻文 板	[明治 7年 9月]	〃 1-(51)
東京名所三十六戯撰海運はし ——橋上に三脚写真機	昇齋一景 萬孫 板元	[明治 5年 8月]	〃 1-(61)
しん板東京名所尽 ——左右5枚づつの小コマ 右上より京橋煉化石、上野清水、国 立銀行、江戸橋、日本橋。 左上より浅草寺、両国橋、蛸売町、 駿河町、新橋ステーション	文正堂よし藤 画工 西村藤太良 出板人小林泰二良	明治11年 5月28日届	〃 1-(63)
江戸橋ヨリ鎧橋遠景 (3枚続) View of Yedobashi and Yoroi bashi	井上探景 印刷・著作・発行 福田熊次郎	明治21年 5月20日	〃 1-(65)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
東京蠣壳街新築盛業之真図 (4枚) ——最左辺は未完結の感あり、5～ 6枚続のうちの4枚なるべし (出版年月も恐らくその部分に 記されしものか)	曙斉国輝		II Bfai-1-(83)
東京里俗人形町通従水天宮深川遠景 —— (3枚続) 少アレ	一曙斉国輝 伊勢屋謙吉 版元	[明治 6年 2月]	” 1-(84)
江都名所湯しま天神社 (横1枚)	広 重 (初代) 佐野喜		” 1-(100)
江 戸 橋 周 辺 (横小1枚・銅版) ——中央にタテの細線あり、本の 挿画用か?			” 2-(2)
東 京 名 所 海 運 橋 (小横1枚)	画作兼印刷発行人 渡辺忠久	明治23年 3月17日 出版	” 2-(8)
東京開化名勝筋違万代橋景 —— (3枚続) 橋際の租税寮を中心に描く、	広 重 ⊗	[明治 7年 11月]	X・ 2-(1)
東京開華名所図絵之内 蛸殻町商行会社米市場繁昌 ——X2-(5)に同じ	広 重 熊谷庄七 版 彫工 秀 勝		” 2-(4)
東京開華名所図絵之内 蛸殻町商行会社米市場繁昌 (大1枚) ——X2-(4)に同じ	広 重 彫工 秀 勝		” 2-(5)
東京名所蛸壳町米市場 (横1枚)	国 利 画工兼出版 平ノ屋檜葉周平	明治14年届	” 2-(6)
東京名勝図会海運橋通り坂本町 ——「生産引立会所」門前	広 重 萬町平新 板	[明治元年 10月]	” 2-(7)
東京名所図会江戸橋郵便局 ——後摺?	広しげ		” 2-(8)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
末広東京名所筋違万代橋 ——橋際に租税局出張所	国 利 画工 山村 清助 出版人 長谷川甚吉		X・2-(9)
東京名所日本橋真景并二魚市全図 ——(3枚続)各葉 左下破れ	一立斎広重 葛 蔦屋吉蔵寿梓		〃 2-(10)
東京都日本橋御高札場之図 ——(3枚続)	広 重 上州屋金蔵 板	[明治 3年 10月]	〃 2-(11)
東京汐留鉄道館蒸汽車待合之図 ——(3枚続)	立斎広重 藤 けい (藤岡屋慶次郎)	[明治 6年 2月]	〃 2-(17)
東京八ッ山下蒸汽車往返鉄道之全図 ——(3枚続) 中葉下左破れ、右葉左破れ	広 重 土橋政田屋 板	[明治 5年 12月]	〃 2-(18)
トウキョウ シナガワ テツ タウ Tou Kiyow Sinagawa Tetsz dapwe ジョウキ ハツシヤ ノ ズ Jiyouki hatszsiya no zoe (3枚続) (東京品川鉄道蒸気発車之図)	広 重 丸屋鉄次郎	[明治 6年 1月]	〃 2-(19)
東京品川海邊蒸気車鉄道之真景 ——(3枚続)右下辺少破	広 重 辻岡屋龜吉 板		〃 2-(20)
横濱新埋地高嶋町 揚屋三階造海岸遠景之図(3枚続) テツ ドウジョウキシヤ ツウカウ ノ ズ Tetsz doujiyoukishiya Tszukou no zoe	広 重 丸屋鉄次郎	[明治 6年 6月]	〃 2-(21)
横濱往返鐵道蒸気車ヨリ海上之図 ——(3枚続)中、右上部虫損 左、左辺破	広 重 濱田屋鉄五郎 板	[明治 7年 2月]	〃 2-(22)
品川辺蒸汽車通之図 ——3枚続の内? 上部に東京~神奈川各區間上・ 中・下運賃表		[明治 6年 3月]	〃 2-(23)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
横 濱 繁 栄 之 図 (3枚続) ——門扉に「兩替」の注	広重改立祥 丸鉄 (伊通二) 彫 長	[慶應元年 9月]	X・ 2-(24)
伊 勢 名 所 御 影 参 (3枚続) ——アレ大、上3/5 名所図 下2/5 参詣人、御師等 X2-(26) と同図、但し(26)に 比し下辺少切れ	玉蘭貞秀 藤岡屋慶次郎	[弘化 4年) 嘉永 5年]	〃 2-(25)
伊 勢 名 所 御 かけ 参り (3枚続) ——X2-(25) (⑦-18) と同図、 但し表題の仮名、上辺文字切れ	玉蘭貞秀 藤岡屋慶次郎	[弘化 4年) 嘉永 5年]	〃 2-(26)
宇 治 橋 (横1) ——和歌あり	為 信		〃 2-(27)
宇 治 橋 (小横1)			〃 2-(28)
浮 絵 金 龍 山 市 之 図 (横1)	歌川豊国 和泉屋市兵衛 板		〃 2-(29)
金 龍 山 浅 草 寺 雷 神 門 之 図 (小横1)	英 泉		〃 2-(30)
江 戸 名 勝 図 会 新 肴 場 しんば	広 重		〃 2-(31)
江 都 勝 景 芝 新 銭 座 之 図 (横1) ——中央にタテの折り目	広 重 川 正		〃 2-(32)
大 伝 馬 町 大 丸 (横1)	画工 小林清親 出版人福田熊二良	明治14年届	〃 2-(33)
東 京 自 慢 名 勝 八 景 日 本 橋 の 暮 雪 ——高札場の前	広 重 土橋政田屋 板	[明治 4年 3月]	〃 2-(34)
諸 国 名 所 百 景 大 坂 天 保 山	広 重 下谷魚栄 板	[安政 6年 10月]	〃 2-(45)
浪 華 百 景 川 口 雑 喉 場 つ き じ (小1枚)	芳 瀧 石和 板		〃 2-(46)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
東都名所鉄炮洲明石橋之図 (横1) ——正面に「御運上所」	広 重 ⑩		X・2-(51)
東京名所図会蓬莱橋	広 重 藤 慶		〃 2-(52)
東京名所尾張町通り商家繁栄之図 —— (横1)	惺々暁斎 倉 (上州屋重藏)		〃 2-(53)
京橋勸業場之図 (横1枚)	画工 井上安治 出版人福田熊二良	明治15年 3月届	〃 2-(54)
京橋松田の景 (横1)	井上安治 出版人福田熊治郎	明治12年届	〃 2-(55)
浅草夜見世 (横1)	画工 小林清親 出版人福田熊治良	明治14年届	〃 2-(56)
浅草寺年の市 (横1) ——左下破れ	画工 小林清親 出版人福田熊二良		〃 2-(57)
東京名勝畫江戸橋驛通寮之図 —— (小判二枚続) 表題は左図にあり、右図は日本 橋下を通して江戸橋を望む。	板元 萬 孫		〃 2-(58)
新板浮絵日本橋肴市繁昌之図 —— (横1) 左の上、下破れ	北 斎 伊勢屋利兵衛 板		〃 2-(59)
東京真景図会日本はしの繁栄 ——中奥に「四日市郵便役所」	広 重 森 本		〃 2-(60)
五十三次日本橋 (小1) ——高札場前に婦人乗りの人力車	広 重		〃 2-(61)
東京開華名所図絵之内 日本橋須賀の神社渡御	広 重 熊谷庄七 版 彫工 秀 勝		〃 2-(62)
東京三十六景日本はしの曙 (横小1) ——右の枠外に□ (No1 のことか)	昇 斎		〃 2-(63)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
東京両国通運會社 川蒸汽往復盛栄真景之図 (3枚続) ——右下辺に少スレあれど保存良	画工 野澤定吉 出版人 三浦武明	明治17年 10月届	X・2-(91)
萬国名勝尽競之内大清南京府市坊 —— (3枚続)	芳 虎 金山田屋 板	[文久 2年 6月]	〃 2-(93)
東海道五十三次の内 藤川駅 佐々木藤三郎 ——着衣に「寛永通宝」の紋ちらし	豊 国 吾 伊勢屋 彫 竹	[嘉永 5年 5月]	〃 2-(174)
奥州松島風景 ——女舟歌の船に乗込むゑびす大黒	周溪 図 国芳補		〃 2-(862)
大津絵合 (横1枚) ——横1枚を豎3ッ割の3図に構成。各1枚が大津絵の細判になる。但し画風は大津絵と異なる。右より大黒と福緑寿、雷と童子、鷹をもつ若衆。中央部にすり破れ	貞 房 龕		〃 2-(874)
東京築地鉄炮洲景 (6枚続)	一曜齋国輝 大黒屋金次郎 梓	[明治 2年 正月]	〃 2-(997)
東京築地鉄炮洲景 (6枚続) ——X2-(997)に同じ	一曜齋国輝 大黒屋金次郎 梓	[明治 2年 正月]	〃 2-(998)
東京名勝銀座之通煉化石商家之図 —— (3枚続) 銀座通りより左上に京橋竹がしを望む	広 重 梓元 辻岡屋龜吉	[明治 7年 5月]	〃 2-(1072)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
5. 風俗・風刺・教育・時事			
方 今 開 化 魁 ——城北桜堤、川崎造幣局など6図			II Afカ4・1-(19)
東京馬喰町三街目中屋旅亭開業図 —— (2枚続) 同家の表側一隅に両替所を設く	広 重 版元 植木林之助		X・2-(2)
楊 井 店 頭 之 図 (大1枚) ——やぎ井 (治) の店先には横長帳簿各種あり、帳面問屋か? 「両替」の軒看板を掲ぐ、ほかに「通運会社取次所」「郵便受取所」「郵便貯金預所」の看板あり	信 広		〃 2-(3)
岩 城 升 屋 店 前 之 図 (3枚続)	広 重 佐野喜	[弘化 4年) 嘉永 5年]	〃 2-(12)
日本橋魚がし旧天王祭団扇投之図 —— (3枚続)	春齋年昌 印刷兼発行者 児玉又七	明治22年 5 月20日印刷	〃 2-(13)
両 国 大 相 撲 繁 栄 之 図 (3枚続) ——名主両判に丑十	立川齋国郷 羽 両国太平 板	[嘉永 6年 10月]	〃 2-(14)
東京勸業場開業式之図	画工 小林栄成 出版人木曾直次郎	明治12年 3月20日届	〃 2-(15)
東京築地保互留館繁栄之図 (3枚続)	一曜齋国輝 羽 大黒屋平吉梓	[明治 3年 11月]	〃 2-(16)
東都名所芝神明宮御宮暁神楽之図 —— (横1)	広 重 佐野喜	[弘化 4年) 嘉永 5年]	〃 2-(35)
東京名所三十六戯撰亀井戸天神初卯 ——あばれ馬にて屋台の銭が散る。 極印天地逆向	昇齋一景 版元 秀 萬孫	[明治 5年]	〃 2-(36)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
東京名所亀井戸妙義 ——男のかつぐマユ玉に千両箱	揚洲周延 臨写印刷兼発行者 勝木吉勝	明治34年 12月10日 印刷 全15日発行	X・2-(37)
江戸名所風景亀戸 ——亀戸は左上にコマ絵、 婦女マユ玉をもち小判さがる。	広 重 圓		〃 2-(38)
江戸名所見立五節句 亀戸梅屋敷正月初卯妙義詣 ——マユ玉に千両箱	広 重 京橋銀老山甚 板	[天保14年 弘化 4年]	〃 2-(39)
東海道五十三次細見図会 川崎・道中風俗・馬士乗人を待	広 重 村 鉄		〃 2-(40)
東海道 程ヶ谷 其二 ——立場にて巾着を奪う図	一英齋芳艶 金 上州屋	[文久 3年 4月]	〃 2-(41)
東海道五十三次土山宿人丸のお六 ——懐中より小判を出して眺む	一勇齋国芳 上岩 佐七 刻	[安政元年 閏 7月]	〃 2-(42)
浪花名所図会順慶町夜見世之図 ——(横1)「銭小賣」の看板	広 重 栄川堂		〃 2-(43)
浪花名所図会順慶町夜見世之図 ——(横1) X 2-(43) に同じ	広 重 栄川堂		〃 2-(44)
木曾街道六十九次之内 奈良井 おろく 善吉	一勇齋国芳 並木湊小 板	[嘉永 5年 5月]	〃 2-(47)
木曾街道六十九次之内草津冠者義高 ——馬に三千両の奉納金	一勇齋国芳 並木湊小 版	[嘉永 6年 正月]	〃 2-(48)
木曾街道六十九次之内上尾三浦の高尾 ——因 高尾大夫身請の小判	一勇齋国芳 兩 国 ⊕ 広小路林庄板	[嘉永 5年 4月]	〃 2-(49)
木曾街道六十九次之内上尾三浦の高尾 ——因 X 2-(49) に同じ	一勇齋国芳 兩 国 ⊕ 広小路林庄板	[嘉永 5年 4月]	〃 2-(50)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
風雅火鉢屏風(大横1)(紅摺絵) ——遊女屋2階より小判を撒く	画工 奥村政信 奥村屋 版元		X・2-(64)
系 取 図 ——蘭間に「本朝織物祖神」像の額 手前座敷で系取り、奥座敷には 小間行商の櫛等を品定め			// 2-(65)
風流十二月 正月(小1) ——子供宝引遊び、1人はさし銭を もつ X 2-67に同じ	石川豊雅		// 2-(66)
風流十二月 正月(小1) —— X 2-66に同じ	石川豊雅		// 2-(67)
南伝馬町天王御祭礼 ——神輿の周囲におひねりとぶ	重 延 丸へい	[慶應 3年 4月]	// 2-(68)
吉原年中行事 十二月 ——左上丸コマ内に狐のお祓描き、 これにおひねりとぶ	五渡亭国貞 ト 山口 板		// 2-(69)
風流十二月ノ内 小春 ——母親が子供の髪を結う図	香蝶楼国貞 繪		// 2-(70)
雪月花 廓の月 ——左辺裁落にて印行刊記不統、 コマ絵に神田川堀割御用小屋場 の立杭に武士役人立会にて銭入 と記す、タルからくじを引く図	揚洲周延		// 2-(74)
名妓三十六佳撰 あげまき ——一階広間にて狐面のお祓におひ ねり投げ与えあり	豊 国 蔦吉 板	[文久元年 12月]	// 2-(77)
面白奇聞 話のたね ——中央に大判形を描き表題を刻印 に擬して東京木挽町一町目祀堂 大判を囲む周囲に9人の人物と 鯨顔の擬人	守川周重 画 小林常吉 板	明治15年 4月廿日届	// 2-(81)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
郵便報知新聞 第五百六十八号 ——新潟古町にて按摩災難、財布 より銭貨散る。	大蘇芳年 全 錦昇堂 彫多	[明治 8年 6月]	X- 2-(82)
郵便報知新聞 第八百三十二号 ——大鯨の見世物	大蘇芳年 熊谷庄七 彫多	[明治 13年]	〃 2-(83)
郵便報知新聞 第五百六十八号 ——X 2-(82)に同じ	大蘇芳年 全 錦昇堂 彫多	[明治 8年 6月]	〃 2-(84)
郵便報知新聞 第六百八十三号 ——路上に銭散乱	大蘇芳年 全 錦昇堂彫工銀	[明治 8年 7月]	〃 2-(85)
郵便報知新聞 第五百八十九号 ——盆ゴザの上に楮幣	大蘇芳年 全 錦昇堂	[明治 8年]	〃 2-(86)
東京日々新聞 八百五十六号 ——相撲取小柳常吉詐欺に遇う凶 財布に手を入れる凶	蕙斎芳幾 具足屋 渡辺彫栄	[明治 7年 12月]	〃 2-(87)
東京日々新聞 八百六十号 ——楠公権助の話 権助手に財布 をもつ	蕙斎芳幾 具足屋 彫春		〃 2-(88)
東京日々新聞 九百廿六号 ——日向永井村にて忠臣蔵五段目 芝居中の惨事 上部に落書	一蕙斎芳幾 人形町具足屋	[明治 8年 3月]	〃 2-(89)
朝野新聞 第千三百五十八号 ——元芳町芸妓実家へ金を渡す	年 信 出板人 林 吉蔵	明治11年 3月18日届	〃 2-(90)
尾州有松紋店之凶(横大1) ——㊦ 河村弥平店頭	一立斎広重 彫 卯吉		〃 2-(92)
屠蘇機嫌三人生酔(3枚続) ——三美人生酔凶	一勇斎国芳 峯 上総屋		〃 2-(99)
江之嶋海辺婦女銭撒凶(3枚続) ——下部3葉とも虫損	一勇斎国芳 (右) 朝桜楼国芳 (中・左) 茶		〃 2-(100)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
全盛黄金花(3枚続)	一勇齋国芳 ト山口	[安政5年 2月]	X-2-(101)
肌競花の勝婦湯 ——湯銭をひねりで渡す	国周	[明治元年 9月]	〃 2-(102)
大井川徒行渡図(3枚続)	国周 金馬式森治 彫藤	[万延元年 9月]	〃 2-(103)
十二月ノ内霜月酉のまち(3枚続) ——熊手に飾の千両箱	豊国 金	[安政元年 6月]	〃 2-(104)
春色花の魁(3枚続) ——左図の若男が肩にのせたまゆ玉 に千両箱を下げる	一陽齋豊国(左右) 香蝶楼(中) 金		〃 2-(105)
當勢和歌参人(3枚続) ——右図の男がもつまゆ玉に千両箱	豊国 两国釜喜	[安政4年 11月]	〃 2-(106)
成田山開帳之図(3枚続) ——賽銭足下に散る図、青竹手すり 舞台に三升等	豊国 金(西村屋与八)		〃 2-(125)
成田山開帳之図(3枚続) ——X 2-125 に同じ	豊国		〃 2-(126)
睦月わか湯乃図(2枚続) ——番台脇こもかぶり上の三方に 祝儀のおひねりの山	香蝶楼豊国 ト山口		〃 2-(144)
成田山参詣 小金ヶ原之図(2枚続) ——路上の銭を小児拾う	梅蝶楼国貞 金丸久 彫竹		〃 2-(152)
千社札 ——松葉大社	一英齋		〃 2-(166)
市美弥景姿の福轟負 ——よしず張の祭壇に小判のせた 三方	豊国 中仁		〃 2-(167)
價千金春の楽 恵方まいり ——股引・羽織姿の男がもつまゆ玉 に巾着	豊国 若狭屋		〃 2-(168)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
花くらべ誉錦 紅葉高尾 ——上部コマに「紀文の追難」として て金撒きの図	勝 月 印刷発行杉山タキ 萩原 刀	明治廿年 11月10日 印刷出版	X・2-(221)
撰雪六六談 黄金の盛徳 ——紀文見立にて妓楼3階廊下より 歩金銀を撒く	芳 宗 印刷兼発行者 秋山武右衛門	明治廿五年 印刷出版	〃 2-(224)
文政十三庚寅春 御影参道の粧 —— (6枚続)	玉柳亭重春 板元大坂 兎喜	(文政13年)	〃 2-(228)
王子稲荷参詣群集之図 (3枚続)	国 貞 ⊙ 岩戸屋		〃 2-(229)
御蔭参驛路之賑 稲荷詣畔地群集 —— (3枚続) 御蔭参 (お札降りの景にて札に 品名を記し物価高下を風刺)	周 延 人形町具足屋 彫工兼五郎		〃 2-(230)
勇連江の嶋遊参 (3枚続) ——海中に天保銭を投げ入れて海女 に拾わせて遊ぶ	芳 幾 今 多吉	[元治元年 4月]	〃 2-(231)
聖徳太子御開帳 諸職人出迎之図 —— (3枚続) 遠景に三井バンク、富士山	梅堂国政 園原屋正助 版	[明治 8年 4月]	〃 2-(232)
横浜港崎廓岩亀楼異人遊興之図 —— (3枚続)	一川芳員 ⊙	[文久元年 正月]	〃 2-(233)
四季模様 浪華の魁 (3枚続) ——遠景に川崎造幣局、女たちの 花見の図	貞 信 出版人 富士政七	明治17年一 月廿八日届 全二月出版	〃 2-(234)
東子供春のあそび (3枚続) ——奥に飾りあるまゆ玉に千両箱 の玩具	立川斎国郷 ⊙ 若与 板	[安政元年 10月]	〃 2-(235)
腕 競 東 都 之 花 形 (3枚) ——役者衆千両箱を運ぶ図、上段に 各役者の詞。左に更に続くか	⊙	[慶應 2年 3月]	〃 2-(236)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
善にんに成木、悪しきひとに成木 —— (3枚続) 善玉、悪玉の教訓図	一英齋芳艶 図		X- 2-(261)
箔 蔵 主 軍 談 図 (3枚続)	朝桜楼国芳 一勇齋国芳 図		// 2-(326)
きたいなめい医 難病療治 (3枚続) ——「人めんさう」に米代金の書付 をつきつける図など	一勇齋国芳 Ⓛ 通三遠彦		// 2-(327)
貧福両道 世界虎之巻 (3枚続)	一英齋芳艶 亀 万		// 2-(328)
かね きん ちやく を じめの ぜん だま 金 近 着 緒 締 善 玉 (3枚続) ——妓楼にて遊興の場、善玉悪玉 を配す	一惠齋芳幾 Ⓛ	[万延元年 10月]	// 2-(329)
か ない たのしむ きん せんを あそび せ る す 家 内 楽 金 銭 遊 セ ル 図 —— (3枚続)	松蝶楼国磨 Ⓛ 長 彫	[慶應元年 5月]	// 2-(330)
マケロマケヌ 賣買大合戦 (3枚続) ——X 2-(340) も同じ 諸商品、金銭乱戦	一惠齋芳幾 Ⓛ	[文久元年 正月]	// 2-(331)
見まーきくまーはなすまー (3枚続)	一鶴齋芳藤 Ⓛ		// 2-(332)
とう せ どう け あそび 當 世 道 外 遊 (3枚続) ——銅銭各種 (文、青、真、小、四 等) の相撲の図			// 2-(333)
銅 銭 争 い 図 (3枚続) ——両替 (看板アリ) 店座敷にて 各種銅銭の争い X 2-(335) に同じ	秋人小丸		// 2-(334)
銅 銭 争 い 図 (3枚続) ——X 2-(334) に同じ	秋人小丸		// 2-(335)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
よ <small>な</small> おし <small>や</small> ま <small>ぶつ</small> <small>か</small> <small>くだり</small> の <small>す</small> 世 直 山 物 價 降 図 (3枚続)	国 政 画工 竹内栄久 出板人福田熊次郎	明治18年 9月 1日届	X・ 2-(336)
み <small>じ</small> <small>む</small> う <small>で</small> <small>し</small> ょ <small>し</small> な <small>げ</small> <small>ざん</small> <small>の</small> <small>す</small> 不 二 詣 諸 品 下 山 之 図 — (3枚続) 商品になぞらえた 人物たちの下山の図 (不景気、物価値下がりの風刺)	立 斉 画工兼編輯 安藤徳兵衛 出板人植木林之助	明治16年 11月届	〃 2-(337)
諸 神 諸 佛 富 士 山 江 集 会 (3枚続) — 「えいじゃないか」のかけ声	広 重  重 ほり長	[慶應 3年 11月]	〃 2-(338)
しん <small>こ</small> くの <small>う</small> <small>け</small> <small>ほみ</small> <small>ねん</small> <small>に</small> <small>ざ</small> <small>ほ</small> ひ <small>の</small> <small>す</small> 神 国 御 廩 豊 饒 賑 之 図 — 神社のお札ふり、中に小判など 混交る	国 輝 萬吉 板	[慶應 3年 12月]	〃 2-(339)
マケロマケヌ 賣 買 大 合 戦 (3枚続) — X 2-(331) に同じ	一 惠 齋 芳 幾  馬 喰 二 丸 徳 板	[文久元年 正月]	〃 2-(340)
ひん <small>ふ</small> く <small>お</small> お <small>か</small> つ <small>せん</small> <small>じん</small> <small>だ</small> て <small>の</small> <small>す</small> 教 訓 貧 福 大 合 戦 陣 立 之 図 (3枚続) — 川をはさんで左岸に富貴軍、右 岸に貧乏軍が対峙、富貴軍には 千両箱もあり	一 宝 齋 国 盛 		〃 2-(341)
樹 上 商 易 諸 物 引 下 図 (3枚続) — 木の枝に画かれた種々の商品を 地上からつなで引下げている図	重 政  彫工 多七	[慶應元年 12月]	〃 2-(342)
富 士 山 諸 人 参 詣 之 図 (3枚続) — 登山、下山の人々になぞらえて 諸物価の上がり下がりを示す図	一 雄 国 てる  横 川 彫 竹	[慶應元年 6月]	〃 2-(343)
当 る 今 貸 座 舗 の 賑 ひ (3枚続) — 擬人商品が張見世前より登楼 の図 X2-(345) に同じ	画工 橋本直義  板元 山村金三郎	明治13年 7月届	〃 2-(344)

表 題	作 者 (絵師) 版 元・彫 師	年 代	番 号
<p>当る今貸座舗の賑ひ (3枚続) ——X2-(344)に同じ 中葉に小穴破れ</p>	<p>画工 橋本直義 板元 山村金三郎 ⊕</p>	<p>明治13年 7月届</p>	<p>X- 2-(345)</p>
<p>一寸見なんしことしの新ばん (3枚続) ——擬人商品の図、左端は稲と米俵。</p> <p>(注) 32頁参照</p>	<p>惺々齋、撓齋 </p>	<p>[慶應 3年 3月]</p>	<p>// 2-(346)</p>
<p>諸色峠谷底下り (3枚続) ——擬人商品の図</p>	<p>楊州周延 画工 橋本直義 出板人 福田熊二良</p>	<p>明治16年 2月届</p>	<p>// 2-(347)</p>
<p>かうき 買運氣十八番之内 かん じん しゃう 奸人商 べいかい やま し むん どう 日なしかし米買山 師問 答 —— (3枚続) 勸進帳見立</p>	<p>画工 安藤徳兵衛 出板人 林 吉蔵</p>	<p>明治13年 8月届</p>	<p>// 2-(348)</p>
<p>とう けい か ぼう ちから くらへ 東京家宝力競 (3枚続) ——三井、鹿島、竹原等が2人づつ にて首引にて争う</p>	<p>周 重 ⊕</p>		<p>// 2-(349)</p>
<p>かね と わざ ぎ ちから くらへ 持丸俳優力量競 (3枚続) ——上段左右へ持丸番附、下 2/3で 役者と金持が首引にて争う 定価六銭</p>	<p>梅堂国政 画工 竹内 栄久 発兌 鈴木久次郎</p>	<p>明治 9年 10月27日届</p>	<p>// 2-(350)</p>
<p>たわむれ 本朝伯来 戲道具くらべ (3枚続) —— X2-(352) に同じ</p>	<p>よし藤 土橋政田屋 板</p>		<p>// 2-(351)</p>
<p>たわむれ 本朝伯来 戲道具くらべ (3枚続) ——X2-(351)に同じ但し貼込間違い (下辺に旧蔵者の朱角蔵印)</p>	<p>よし藤 土橋政田屋 板</p>		<p>// 2-(352)</p>
<p>ひん さだめ くい くわの はな 品定開化花 (3枚続) ——人気役者顔見世、紀文役の家橘 が金を撒く</p>	<p>画工 守川音次郎 版元 沢 久次良</p>	<p>明治12年 7月27日届</p>	<p>// 2-(353)</p>